

福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

株式会社 サクセスアカデミー

にじいろ保育園サクセス金沢文庫

横浜市金沢区釜利谷東 2-18-22

【評価対象種別】

保育所

【使用評価項目】

横浜市版

●実施概要	P1
●総合評価	P2 ~ P3
●分類別評価結果	P4~ P18
●利用者家族アンケート結果	P19~P27
●利用者本人調査結果	P28~P29
●事業者コメント	P30

2015年12月

評価実施機関：合同会社 評価市民・ネクスト



【評価実施概要】

事業所名	株式会社サクセスアカデミー にじいろ保育園サクセス金沢文庫
事業所への報告書提出日	2016年2月5日（評価に要した期間）8か月
評価機関	合同会社 評価市民・ネクスト

●評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間 ~2015年10月9日</p>	<p>① 自己評価票の項目を3つに分け、職員を3グループに分け、グループごとに話し合いを行った。園長は各回に出席した。</p> <p>② 各グループで話し合っまとめたものを持ちより、園長・主任・乳児リーダー・幼児リーダーの4人で一つにまとめた。</p> <p>③ 全項目のまとめ版をプリントし、再度検討を行い完成版にした。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間 2015年9月14日~9月30日</p>	<p>① 全園児の保護者（52世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡して配布した。</p> <p>② 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日 第1日：2015年11月9日 第2日：2015年11月10日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前：保育観察。 昼食：園児と一緒に食べながら保育観察。 午後：書類調査。園長・運営法人保育アドバイザーにヒアリング。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：朝は登園の様子を観察。その後各クラスで保育観察。 昼食：園児と一緒に食べながら保育観察。 午後：クラス担任保育士5名、看護師1名、栄養士1名、主任に順にヒアリング。 その後、園長・運営法人保育アドバイザーにヒアリング。 最後に意見交換を行い、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日 第1日：2015年11月9日 第2日：2015年11月10日</p>	<p>① 観察調査を調査員が各クラスで実施し、戸外・園外での活動も観察した。</p> <p>② 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>

【施設の概要】

にじいろ保育園サクセス金沢文庫は、京急「金沢文庫」駅から5分ほど歩いた住宅地の一角に位置するマンションの1階にあります。マンション1階にある園舎は日当たりが良く、小さいながら園庭もあります。園舎の床全体は天然のヒノキの床でぬくもりを感じさせる保育園です。

にじいろ保育園サクセス金沢文庫は、2006年4月に、株式会社サクセスアカデミーによって設立されました。運営法人は保育園・学童クラブ・児童館の運営、病院・事業所・大学内の保育委託サービス、保育施設運営のコンサルティングサービス等を、首都圏を中心に幅広く展開しています。

定員は60名(0歳児～5歳児)で、開園日は月曜日から土曜日で、開園時間は平日が7時から20時、土曜日は7時から18時です。

保育理念は「のびやかに育て だいちの芽」、保育目標は「自然を愛し、心身ともに健やかな子ども」「自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども」「『仲間』と関わり、人を思いやれる子ども」「自己を表現できる子ども」です。

●特長・優れている点

【1】子どもがのびやかに育ち、やさしさを育くむ家庭的な保育が行われています

園は、理念に沿い、子どもがのびやかに生きていく力を育む家庭的な保育を心がけています。保育士は子どもたちができるようになったこと、うれしかったことを共に喜び、気持ちを受けとめ、子どもの気持ちに寄り添いながら、子どもたちが満足してから次の活動に誘う、そのような保育を目指しています。

散歩の行き先となる公園は子どもたちが選びます。行事は子どもの発想を受け止めながら進め方を決めています。自由遊びの途中で一斉活動が始まっても、遊びの続きができるように作った物を壊さないようにしています。自由遊びでは異年齢で一緒に遊び、子どもたちの間に自然と思いやりが生まれ、いたわりの心が育まれています。

保育士は、子どもに対しての言葉遣いや態度は、保育士間でお互いに連携して気をつけています。せかしたり強制することなく子どもと落ち着いてかかわれるようにしています。おもしろをした子どもには、子どもの心を傷つけないように、スムーズに優しく対応しています。子どもたちは、温かく家庭的な雰囲気の中で、理念の「のびやかに育て だいちの芽」に沿った園生活を楽しくしています。

【2】職員相互に認めあい、相談しあえる、信頼関係の上にたった保育を行っています

職員は常勤・非常勤の立場にかかわらず、子どもたちのためにより良い保育を提供できるように連携し協力しあっています。また職員が経験や年齢にこだわらず、お互いの良いところを認め合って保育を行っています。保育士同士が相談し合う場面が見受けられるなど、職員が一人で悩むことなく相談や助言しあえる関係が築かれています。園長が不在のときも主任を中心に保育士が連携し、業務を行える体制が整っています。

園に来た実習生には、保育士が子どもたちや職員同士の動きに目を配り、連携しながら行っている保育の実際を体験してもらい、保育士の仕事には、厳しさと共に喜びもあることを伝えています。実習生が、卒業後にこの園の入職を希望したり、実際に入職している事例も生まれています。

【3】一人一人の職員の課題に沿った、計画的な人材育成が行われています

全ての職員を対象に、それぞれ身につけさせたい資質、受けるべき研修を定め、一人一人課題を明確にした上で研修計画を立案しています。毎年、職員は「チャレンジ共有シート」に自らの成長目標として苦手分野克服、得意分野向上、未経験分野へのチャレンジなどの視点で資質向上の目標を記入し、園長との面談で目標を確認します。これらを土台にした外部研修・法人研修・園内研修が定期的実施され、必要な職員が受講できるような体制をとっています。園外研修は職員が参加しやすいように日常業務の調整をしています。園内研修は職員の要望を受けて計画する他、園長が節目ごとに全職員を対象にした理念やわらべ歌などの保育技術、子どもとの関わり方などについてプレゼンテーションを行うなど、保育の質の向上に努めています。

●今後の取り組みが期待される点

【1】地域への子育て支援の幅を広げる工夫

地域の子育て家庭を支援する取り組みとしては、育児相談、育児講座、保育体験や親子広場などの活動を行っています。ただし、園の施設、園庭ともあまり広くないため、さらに施設内で地域支援を進めることには制約があります。園長は育児講座のためにベビーリンパマッサージの資格を取得し、他園の保育士を対象とした、わらべうたなどの講師も行っていきます。地域の保育資源として、園長をはじめ保育士、看護師、栄養士など、それぞれの知識・技術、経験を生かし、施設外で専門性を生かした育児講座を行うなど、地域を対象とした取り組みの幅を広げていくことが期待されます。

【2】ヒヤリハット記録の改善とさらなる活用

園では、事故報告、アクシデントレポート、ヒヤリハットの制度を確立し、安全に関する予防処置の大切さなど、子どもの安全を守る園づくりに心を砕いています。園では、事故報告書はもちろん、ヒヤリハットにおいても記録を作成し、その分析等によって事故の予防対策を検討しています。ただし、ヒヤリハットの取り組みはまだ十分浸透しているわけではなく、意識の啓発や書式の検討によってより積極的に取り組むことが期待されます。

分類別評価結果



「ひょう太」 3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

横浜市の評価基準に基づいて、各評価分類は1～6つの評価項目によって構成され、評価項目の評価結果によって、評価分類の評価結果が決まります。

評価領域Ⅰ 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p> <p>(1) 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2) 保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> • 理念は「のびやかに育て だいちの芽」をうたっています。保育理念、保育課程の解説文書では「子どもの最善の利益の尊重」と記載されています。職員向けの理念研修での園長のプレゼンテーション資料には、理念の内容とともに、保育士の声の大きさ、子どもを非難してはならないこと、泣いている子どもを無視せず、要求にこたえることなど、具体的な場面にも触れて理念の立場を貫くことを明示しています。 • 毎年3月に職員がかかわりながら保育課程を見直しています。保育課程に沿って、年齢ごとに年間指導計画、月間指導計画を作成しています。行事や活動の際には子どもに言葉で丁寧に説明したり、子どもたちの遊びからごっこ遊びに展開するなど、子どもの意見も取り入れて柔軟に指導計画に反映させています。子どもの自主性、主体性を育てる視点から、年間指導計画は年度途中でも柔軟に計画を変更しています。 • 入園時には保護者に対して、入園のしおりを基に、園長の独自資料も用いて、保育課程の考え方の土台となっている理念・保育方針・保育目標と、保育課程の概要を説明しています。また保育課程は玄関に貼り出し、保護者がいつでも見ることができるようになっています。
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> <p>(1) 入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。</p> <p>(2) 新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。</p> <p>(3) 子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。</p>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> • 新入園時は入園説明会の際に保護者面接を行い、子どもの特徴や性格、既往歴などを把握しています。 • アレルギーなど子どもの様子に気になる点があれば、看護師、栄養士による面接も行っています。 • 保護者面接の際に、子どもの絵本やおもちゃで遊ぶ姿などを観察しています。 • 入園時に提出される児童表（家庭の状況等）、健康調査票（既往症、予防接種等）、調査票（栄養、授乳、食事、排泄等）などで生育歴、既往症、家庭の状況を把握しています。把握した内容は、食事、排泄、午睡

など、日々の保育に生かしています。

- 入園時の慣れ保育は、保護者面接の中で説明しています。子どもが園に慣れることを優先しつつも、保護者の都合にも柔軟に対応しています。アタッチメントに対応する主担当の保育士を決めて保育を行っています。
- 2歳児までは保護者と連絡帳で子どもの様子を毎日詳しく報告し合い、子どもの生活が家庭と園で無理なく引き継がれるようにしています。
- 3～5歳児は、保護者と子どものコミュニケーションを大切にするという視点から、なるべく子どもから保護者に伝えられるよう配慮しています。また、その日の活動を掲示板「今日の保育」でも保護者に伝えています。
- 在園児の進級に際しては、毎年3月に前担当者から新担当者に引き継ぎをし、指導計画も一緒につくるなど連続性に配慮しています。
- 指導計画の評価・見直しの内容は、カリキュラム会議で全クラスが発表し、園全体の内容を全職員が把握できるようにしています。トイレトレーニングや歯ブラシの導入などについては、子どもの個別性に配慮しつつ保護者とコミュニケーションを取りながら、保護者の意向も反映しています。

I-3 快適な施設環境の確保



- (1) 子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされているか。
- (2) 沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3) 子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- 屋内外ともに掃除がされ、清潔に保たれています。室内は2時間おきに換気を行っています。室内に温湿度計を設置し、温湿度を管理しています。加湿機能のある空気清浄機を常に稼働させています。加湿器に次亜塩素酸ナトリウムを入れ、感染症予防に努めています。
- 保育士の声も保育環境であるとの視点で、大きな声は出さず、話をするときは子どもの近くに行って話をするようにしています。お漏らしやプールの後には0歳児は沐浴を、その他の子どもはシャワーを浴びて清潔が保てるようにしています。
- 0歳児、1歳児は一つの部屋で過ごしていますが、活動別に棚などで仕切りをつくり、空間を分けて少人数で保育を行っています。限られたスペースを活用して、食べる、眠る、着替えるなどのコーナー分けをして、機能別に空間を確保し保育活動がスムーズに流れるようにしています。
- 3歳児から5歳児は同じ部屋で縦割りの異年齢の保育が行われています。手を洗うときに幼児が低年齢児の面倒を見たり、散歩の際に手をつなぐなどの中で、思いやりの気持ちが育まれ、年長児にあこがれを抱くなど異年齢の交流が行われています。朝夕や土曜日の子どもが少ない時間帯では、子どもたちは異年齢で過ごしています。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- | | |
|--|--|
| <p>(1) 子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合った個別指導計画を作成しているか。</p> <p>(2) 子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。</p> | <ul style="list-style-type: none">• 0～2歳児については、全体の年間・月間指導計画のほか、一人一人に適した対応ができるように個別の指導計画を作成しています。幼児でも課題のある子どもには、それぞれ個別指導計画を作成し、子どもの状況に即して週1回反省を行っています。• 個別の目標・計画は毎月見直すだけでなく、睡眠、食事、排泄など子どもの発達状況に応じてその都度、柔軟に見直しています。個別指導計画の見直しは、昼寝の時間、歯ブラシの導入、トイレトレーニング、食事の量など、目標を立てたものは、保護者に様子を伝え、理解を得ながら連携してすすめています。• 子どもの記録類は個人ファイルに整理され、事務室の鍵のかかるロッカーに保存してあります。業務中、保育士はいつでも参照でき、共有できる仕組みがあります。• 進学時、保育所児童保育要録を小学校に送付しています。 |
|--|--|

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- | | |
|--|---|
| <p>(1) 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。</p> <p>(2) 障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p> <p>(3) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p> <p>(4) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。</p> <p>(5) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">• 市のホームページで特に配慮を必要とする子どもについての受け入れを案内しています。園としても積極的に受け入れをするため、外部研修に保育士が参加したり、内部研修を行うなどして日常の保育に生かしています。室内の床には段差はなくフラットになっています。また、玄関にはスロープと手すりをつけ、トイレにも手すりを設置するなどバリアフリーになっています。保護者の同意の下、南部地域療育センターや福祉保健センターの保健師と日常的に連絡がとれるようになっており、連携しています。年に1回、南部地域療育センターの巡回相談があり、気になる子どもを見てもらい保育上の相談やアドバイスを受けています。• 障がいがある子どもも、その他の子どもと一緒に保育園での生活を送っており、子どもたちは自然な形で一緒に遊んでいます。• 運営法人の研修で全職員が虐待防止の研修を受けています。また内部研修でも虐待防止の研修を行い、虐待の定義や4類型など虐待防止について職員に周知しています。虐待が疑われる場合には、園長や臨床心理士に相談するようになっていきます。また区役所や児童相談所に連絡する体制を整えています。• 支援が必要な保護者など気になる保護者がいた場合は、声かけをして丁寧に話を聞き、気持ちに寄り添っています。巡回相談時に臨床心理士と気軽に相談できるよう配慮しています。• アレルギーのある子どもに関しては、市の「保育所における食物アレルギー対応マニュアル」に従って、医療機関の指示を受け対応しています。主治医の指示、保護者からの情報などは保育士と調理室で情報を共有しています。入園時、年度はじめに園長・看護師・栄養士が保護 |
|--|---|


	<p>者と面談し、提供する食物を確認した上で、個別の献立表に基づいて除去食を提供しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対しては、食べられない食品があるなど、生活習慣などの違いについて理解できるよう子どもにも話し、お互いを認め自然な交流ができるよう配慮しています。現在は文化の異なる子どもはいませんが、過去の事例では、ゆっくりと丁寧に話すなどの配慮をして、意思疎通ができていました。
--	---

I-6 苦情解決体制



<p>(1) 保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p> <p>(2) 要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 要望・苦情窓口（受付）担当者は主任、解決責任者は園長と、重要事項説明書に記載し、保護者に説明しています。重要事項説明書には第三者委員へと申し立てができるよう電話番号が記載されています。玄関には区役所や市の福祉調整委員会の連絡先も明示し、外部の苦情解決窓口を紹介しています。玄関にご意見箱を設置したり、保護者懇談会では懇談会の申し込み用紙にアンケート欄を設け、要望や苦情を受け付けています。 • 自分の要求をまだ十分に表現できない子どもからは、仕草や表情などで意思をくみ取るよう努めています。保護者には登園降園時に声かけをするよう努め、話しやすい雰囲気をつくるよう心がけています。 • 園での解決が困難な場合は、運営法人の顧問弁護士、第三者委員、区役所や市の福祉調整委員会に報告し、連携する体制が整っています。苦情は記録し職員会議で話し合い、その解決に取り組むとともに、記録を蓄積・整理しています。 • 保護者から園の子どもが保護者の自転車の砂場に砂をかけているという苦情がありました。園では内容を調査し職員会議で話し合い、子どもに分かりやすく「砂場の砂を外に出さないでね」と注意を促し、保護者にもその後の対応について伝えるなど、苦情の解決に素早く取り組んでいます。
--	---

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<h3>Ⅱ-1 保育内容[遊び]</h3> <p>(1) 子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> • 0歳児ではハイハイでも取り出せるような低い位置に、おもちゃなどを配置し、年齢に合わせて自分で取り出して遊べるようにしています。 • おもちゃは発達段階に合わせた物を揃えますが、保育士が発達に合わせて手作りおもちゃを用意する場合があります。 • パーテーションなどを利用して、子どもが落ち着いて遊べるように配慮

- (2) 遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。
- (3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。
- (4) 子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。
- (5) 遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。
- (6) 積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

しています。自由遊びの途中で一斉活動が始まっても、後で遊びの続きができるように、遊び途中に作った物などを壊さないようにしています。

- ・行事の前には子どもたちと話し合い、子どもの発想を受け止めながら、行事の進め方を決めています。
- ・子どもたちはブロックを車や電車に見立てたり、布 1 枚でも自由な発想で遊んでいます。1 歳児ではみんなで大きな紙になぐり描きをしたり、絵本を読んだりしています。
- ・造形教室や体操教室では、自由な発想を引き出したり、体で表現することを知り、楽しさだけでなく、ルールを守ることも学んでいます。鬼ごっこなどの遊びからでも、さまざまなルールを覚えています。
- ・保育士は遊びが発展するために必要なものを考え、定期的におもちゃの入れ替えをして、子どもが興味を持って遊べるように、保育士も一緒に遊んで仲立ちをしています。
- ・子どもたちは園庭にプランターを置き、野菜などを栽培し、異年齢で水やりをしています。2 歳児はサワガニを飼育しています。子どもたちが自分たちで育てたものだからこそ、優しさ・意欲・思いやりの気持ちが芽生え、生き物の成長も感じています。園の周りには自然も多くあり、季節の花や果実を見ることができています。
- ・散歩や公園などでは保育士と子どもたちは地域住民にあいさつをしたり、地域の親子と一緒に遊び、かわりを持っています。
- ・乳児クラスでは小麦粉粘土・新聞紙・片栗粉などを使い、感触遊びを取り入れています。
- ・幼児クラスでは、子どもが自由に取りだせるように紙やサインペンなどを置いています。また廃材を利用して折り紙を作ったりして、遊びや作品作りにつなげています。
- ・幼児クラスでは、郵便ごっこを通して、文字に対して興味や関心が向くようにしています。保育室には手作りのペットボトルマラカス・ミルク缶の太鼓・鈴があり、子どもたちは自由に楽器を使い、音を楽しんでいます。夏には園庭でボディペインティングを楽しんでいます。
- ・園としては、テーマ遊びをもっと盛り上げていくことや、子どもが好きな廃材遊びを充実させ、もっと保育活動に取り込んでいきたいと考えています。
- ・子ども同士のけんかは、なるべく子ども同士で解決できるよう保育士が見守りながら、危険な場合はすぐに止めるようにしています。乳児には「かして」「やめて」などの簡単な言葉かけを教えています。
- ・3～5 歳児の保育室にはドアがなく、開放的で他のクラスの様子を見ることが出来ます。乳児が保育士と幼児の遊びを見に行くこともあり、幼児が乳児の手洗いの手伝いや、乳児室へ手をつないで送って来てくれます。職員はどの子どもにも平等に接し、子どもは大人の姿をよく見ているので、言葉遣いや立ち振る舞いを丁寧に行っています。

・園庭があまり広くないので屋外活動を多くしています。紫外線対策や熱中症対策を行い、時間があるときには少しでも散歩にできるようにしていますが、体調の優れない子どもは室内で過ごすような配慮をしています。公園には縄跳びやボールを保育士が持参し、室内でも鉄棒・マット・跳び箱やリズム遊びを行い、体力作りをしています。

Ⅱ-1 保育内容[生活]



- | | |
|--|---|
| <p>(7) 食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p> <p>(8) 食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p> <p>(9) 子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。</p> <p>(10) 子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p> <p>(11) 午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。</p> <p>(12) 排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・食事では、食事の前に子どもに合わせて、食材のサイズを小さくしたり量を減らして、子どもへの負担を少なくしています。授乳は家庭での授乳量を目安に子どもが欲しがるときに抱っこして与えています。離乳食は子どものペースを尊重し、離乳食は発育に合わせグループ分けした席で食べています。子どもが苦手な物を自ら食べたときには、たくさん褒めることで自信につなげています。子どもたちはクッキング体験や三色食品群のイラストなどを通して、食材や調理に興味を持ち、昼食の配膳や片づけを行い、食に関心が持てるように工夫しています。 ・誕生日のお祝い献立や行事食などは、季節感がある献立や、目で見て楽しめるような盛り付け方を工夫して提供しています。幼児では、年齢ごとのグループの日・異年齢児グループの日とテーブルの配置を変えて、楽しんで食事ができるように配慮しています。食材はできるだけ国産の野菜や乾物にこだわり、旬の野菜を使用しています。食器は安全性を重視し、強化磁器食器を使用しています。スプーン・フォーク・はしは、子どもの成長に合わせた物を使用しています。 ・給食会議で、子どもの喫食状況や食事の進み具合などを話し合い、盛り付けや調理に生かしています。毎食時、栄養士が各クラスを回り、喫食状況を見たり残食の確認を行い、献立作成に役立て、提供の仕方を変えるなどしています。 ・栄養士が献立を作成し、事前に保護者に配布しています。給食だよりには、献立作成のポイントや栄養に関する情報、子どもたちの人気メニューやレシピなども記載しています。その日のメニューサンプルを玄関に掲示しています。保護者には保育参加のときに、給食の試食を実施しています。育児講座の際には、離乳食の試食も実施しています。 ・午睡は眠くない子どもには、ゆっくり体を休めるように声かけし、活動量を控えた遊びを取り入れています。一人一人の寝る場所を決めて、安心して眠れるように配慮しています。うつぶせ寝を避け、0・1歳児は乳幼児突然死症候群（SIDS）予防のための呼吸チェックをしています。5歳児は就学に向けて、少しずつ午睡の時間を減らしています。 ・排泄は子どもの排泄リズムを捉えるように努め、トイレトレーニングなどは、保育士間で排泄状況を確認しながら、一人一人に合わせて対応しています。保護者とは連絡帳や送迎時の会話で連携を密にしています。保育士は、おもしろをした子どもには、子どもの心を傷つけないように、スムーズに優しく対応しています。 |
|--|---|

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- (1) 子どもの健康管理は、適切に実施されているか。
- (2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。
- (3) 感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- ・健康管理に関するマニュアルがあり、毎日の子どもの健康管理を行っています。既往症については、入園時に保護者から児童健康調査票の提出をしてもらっています。職員会議やミーティングで、栄養士・看護師と連携し、子どもの様子を全職員に周知するよう努めています。登園後の体調変化などで気になる子どもがいる場合は、送迎時に保護者と降園後の対応について話し合っています。
- ・歯科健診時の歯科医によるブラッシング指導や、看護師による歯磨き指導を行っています。
- ・健康診断・歯科健診・身体測定の結果は、一人一人の健康記録に記載しています。保護者へは、健診結果を書面で渡し、必要に応じて口頭でも伝えていきます。歯科健診では、保護者によりわかりやすくするために、各クラスの子どもの虫歯の状況をグラフにして玄関に掲示しています。職員は健診前に、保護者からの相談ごとを嘱託医に相談し、アドバイスを受けています。保護者には健診結果に基づき、嘱託医やかかりつけ医への受診や通院を勧めています。
- ・感染症に関するマニュアルがあり、保護者へは登園停止基準などが記載された入園のしおりを配布しています。保育中に発生したときには、すぐに保護者へ連絡し、子どもの早めの引き取りを依頼しています。発生時には速やかに、玄関の掲示板で情報提供をしています。感染予防を徹底し、ニュースや区から得た最新情報は職員間で共有しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- (4) 衛生管理が適切に行われているか。

- ・衛生管理に関するマニュアルは、運営法人で見直しを行い、例えば嘔吐処理については園でも見直しをしています。看護師が主体となり、マニュアルに沿った内容の研修を行って、子ども向けに手洗いなどの指導をしています。清掃する場所には、いつでも確認できるようにマニュアルを貼っています。定期的に、ロッカーや棚の消毒・エアコンの清掃・害虫駆除を行い、園内を適切な状態に保つよう努めています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- (5) 安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。
- (6) 事故や怪我の発生時および事後の対応体制が確立しているか。
- (7) 外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

- ・地震などへの対応として、高いところには物を置かないようにし、転倒しやすい物にはストッパーや滑り止めで対応しています。安全管理に関するマニュアルは各保育室の壁にも貼り、避難訓練などで職員は周知しています。緊急連絡表・安心伝言板・災害伝言ダイヤルを利用して、保護者との連携体制が確立しています。毎月、地震・火災を交互に想定した避難訓練を行い、年1回、大災害を想定した引き渡し訓練を実施しています。津波を想定し、高台にある地域の自治会と一緒に、避難場所への誘導訓練や子どもたちがトイレを使えるようにする訓練もしています。職員は、釜利谷東消防出張所からAED研修を受けています。

- ・医療機関・病院などの連絡先は事務所にファイルし、掲示もしています。ケガをした場合には、すぐに園長・看護師に伝え、保護者へは降園時に詳しい状況を説明し、事故報告書などに記録しています。ケガや事故については、アクシデントレポート・事故報告書・ヒヤリハットを基に職員会議で話し合い、再発防止につなげています。
- ・ヒヤリハットの取り組みはまだ十分浸透しているわけではなく、意識の啓発や書式の検討によってより積極的に取り組むことが期待されます。
- ・非常口は常に施錠しており、玄関はインターホンを使用し、園内から解錠しないと開かないようにしています。警備会社と連携し、緊急時には通報できるようにしています。緊急体制はマニュアル化され、職員は周知し、不審者対応訓練も行っています。非常時には全保護者へ安心伝言板で情報を発信し、不安を解消できるようにしています。不審者情報は、区役所・警察のスクールサポーター・保護者・近隣住民・近隣保育園などから得られるよう連携しています。

Ⅱ－３ 人権の尊重



- (1) 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2) 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3) 個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4) 性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・子どもに対しての言葉遣いや態度は、保育士間でお互いに連携して気をつけています。せかしたり強制することなく子どもと落ち着いてかわれるように、ゆとりをもった保育をしています。子どもには大きな声を出さず、おだやかな声で言葉をかけ、簡潔に伝えるよう配慮しています。
- ・仕切りを使ったコーナーは、子どもが他の子どもや保育士の視線を気にせず過ごせる場所になっています。
- ・一対一での話し合いや対応が必要なときには、廊下などを利用して、子どもが落ち着いて話せるように配慮しています。
- ・個人情報保護規程・守秘義務や個人情報の取り扱いに関するガイドラインがあり、運営法人が作成した書式から抜粋してマニュアルを作り、全職員に周知しています。
- ・遊びや園生活での役割、持ち物、順番、グループ分けなどは、保育士が性別による区別をすることなく、子どもの意思を尊重するようにしています。子どもや保護者には、いろいろな家庭があることを考慮し、父親・母親の役割を固定的に捉えるような活動は控えています。全職員が運営法人の「男女共同参画」の研修を受け、職員会議などで振り返りや話し合いの場を設けています。

Ⅱ－４ 保護者との交流・連携




- (1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。

- ・保護者には入園説明会や懇談会で、保育の基本方針をわかりやすく説明しています。保護者アンケートを実施し、保育方針が理解されているかどうかの把握に努めています。また、入園のしおりや園のパンフレットには保育方針を明記し、園だよりには保育のねらい、子どもたちの様

<p>(2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。</p> <p>(3) 保護者の相談に応じているか。</p> <p>(4) 保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。</p> <p>(5) 保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。</p> <p>(6) 保護者の自主的な活動の援助や意見交換を行っているか。</p>	<p>子、行事の内容を記載し、保育方針の理解が得られるようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 子どもの送迎時には、子どもの良かったところや楽しんでいる様子を、保護者へ伝えるようにしています。連絡帳については、乳児は毎日記載し、体調変化や成長の変化を伝えていきます。幼児は必要に応じて記載し情報交換をしています。 • 年2回個人面談の週を設けていますが、都合が合わない保護者には他の期間であっても、保護者の意向を踏まえて面談を受け入れています。配慮が必要な子どもや、気になることがある子どもの保護者には、園側から保護者へ面談を呼びかけています。年3回懇談会を実施し、保護者へクラス全体の様子を伝えていきます。 • 保護者の相談などは、事務室や職員休憩室を利用し、カーテンを引いて他の人から見られたり聞かれたりしないように配慮しています。面談後は園長に報告をし、園長・主任から助言を受けられるようにしています。相談内容は記録を残し、継続的なフォローをしたり必要に応じては区の担当者と連携を取り、家庭訪問ができる体制を整えています。 • 園だよりなどは毎月保護者へ配布し、保育室にはクラスごとの保育の様子を伝える用紙を掲示しています。子どもたちの日常や遊びの様子を写真に撮り、プリントしてクラスに掲示したりブログに載せ、保護者に保育園での子どもの様子を伝えるように努めています。 • 年間行事予定は、保護者ができるべく参加できるように、前年度末には配布しています。保育参観や保育参加は園だよりや掲示板で参加の呼び掛けをし、保護者の要望にも応じて積極的に受け入れています。 • 懇談会後や茶話会などで、保護者が場所を必要としているときには、時間を決めて保育室を提供しています。卒園式後の謝恩会は、保護者が主体となって行っており、園は場所の提供をし、保護者からの要請を受けて職員も参加しています。現在、保護者組織の継続的な活動はありません。
---	--

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類		評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠(具体的な取り組み・工夫事例)	
<p>Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> <p>(1) 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> • 地域の自治会などとの交流を通して、施設に対する要望を把握するように努めています。地域住民に対しては、園での保育相談・臨床心理士の巡回相談・見学者の相談を受ける中で、子育て支援ニーズの把握に努めています。金沢区健やか子育て連絡会に参加し、区役所とも連携して情報共有や、必要に応じて検討会を行っています。 	


<p>(2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、自らベビーリンパマッサージの資格を取得し、他園でわらべうたの講師を行うなど活発に活動しています。施設の大きさから、地域の方への施設開放や園庭開放には限界があるので、施設外で専門性を生かした育児講座を行うなど、サービスの提供の幅を広げていくことが期待されます。 ・年に一度は職員会議で、地域向けの育児講座の内容を検討しています。地域での子育て支援として、「きらきらかなざわっこスポーツフェスティバル」での交流保育や、園庭開放を行っています。また、金沢区主催の「赤ちゃんの駅」に参加し、授乳やおむつ替えの場所を提供しています。地域住民に向けて、ベビーリンパマッサージ・わらべうた・ペープサート・離乳食の試食などの育児講座を行っています。
--	--

Ⅲ-2 保育園の専門性を活かした相談機能



<p>(1) 地域住民への情報提供や育児相談にしているか。</p> <p>(2) 相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園では、親子ふれあい広場の開催時に、育児に関する知識や情報を提供しています。育児相談は園長・主任が随時対応するほか、臨床心理士・栄養士・看護師による相談も受け付けています。地域住民には園の外掲示板でお知らせし、地域の自治会・幼稚園・小学校にも園だよりを配布し情報を提供しています。 ・関係機関・医療機関・必要な団体などをリスト化し、いつでも見られるように事務室に保管しています。関係機関などとは、主に園長が連絡を取り、内容に応じて各リーダーが担当して対応しています。関係機関や団体とは、日ごろから保育の相談や活動を通して連絡を取り、スムーズな連携を図っています。
---	---

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<h3>Ⅳ-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</h3> <p>(1) 保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・園の夏祭り・運動会・敬老の日のつどいなどの行事に地域住民を招待し、また、地域の避難訓練や花まつりに参加しています。自治会からの要望を受け、公園に行ったときにはゴミ拾いを継続して行っています。地域の小・中学校のイベントに参加し、一方、園では学生の職業体験を受け入れています。「赤ちゃんの駅」での施設開放や、地域の親子に絵本の貸し出しをしています。 ・地域には動物園・寺・図書館などの施設が多数あり、行事の際に利用しています。散歩や公園では地域住民にあいさつすることを心がけています。地域住民に、毎年、七夕の笹をもらいに行ったり、商店街には夕涼み会の買い物に行っています。公園では他園の子どもたちに声をか

け、一緒に遊ぶ機会を設けています。他園との合同散歩や老人ホーム訪問を行い、近隣の障がい者施設からは遊びに使う手作りの人形を購入して交流しています。地域の行事などの情報は、保護者や子どもたちが参加しやすいように、園に掲示しています。

IV-2 サービス内容等に関する情報提供



- (1) 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。
- (2) 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。

- 園のパンフレット・運営法人のホームページ・区のホームページなどで情報を提供し、園のブログでも保育の様子などが見られるようにしています。子育て情報誌や「かなざわっこきらきらマップ」にも園の情報を提供しています。
- 利用希望者からの電話が入った際には、見学ができることを伝えていきます。また、ブログやポスターでも、見学がいつでもできることを案内しています。ブログは利用希望者や保護者に見てもらえるように、こまめに更新しています。見学については、希望者の都合に沿えるように配慮し、子どもの活動が見られる時間帯を伝えていきます。見学者には園の三つ折りパンフレットを配布し、園の概要やサービス内容の詳細情報も提供しています。全職員はサービス内容などを周知しており、園長や主任が不在時にも対応できるようにしています。



IV-3 ボランティア・実習の受け入れ



- (1) ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。
- (2) 実習生の受け入れを適切に行っているか。

- ボランティアや実習生の受け入れマニュアルがあり、職員には事前に受け入れの趣旨を説明し、保護者へは園だよりで知らせています。受け入れや育成は主任が担当し、記録を残しています。
- 学生の職業体験としてのボランティアなどを受け入れています。また、ボランティアからの質問を受け、共通認識につなげ、ボランティア終了時にアンケートを実施し、感想や意見を園運営に反映させています。
- 実習生を受け入れるにあたっては、実習生の希望に沿ってクラスを決め、プログラムには早番・遅番の体験も取り入れ、実習が充実したものになるように全職員で対応しています。主任は、実習生に声をかけたりして緊張を和らげるような配慮をしています。実習性の健康管理にも気を配り、働く上で大切なことも伝えていきます。実習反省会を行い、意見交換の場を設けてアドバイスを丁寧に行っています。実習生を受け入れることで、保育士たちも振り返りを行うことができ、積極的に受け入れを行っています。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p>V-1 職員の人材育成</p> <p>(1) 保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。</p> <p>(3) 非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> • 職員の配置は、育休・産休などを考慮し、基準より多く配置しています。また、看護師、栄養士を配置し理念の実践に向けた人材構成にしています。 • 人材の育成については毎年度「職員育成年間研修計画」を策定しています。全ての職員を対象に一人一人の身につけさせたい資質、受けるべき研修を定めています。これをもとに全職員を対象にした研修計画を作成しています。職員は「チャレンジ共有シート」に自らの成長目標として苦手分野克服、得意分野向上、未経験分野へのチャレンジなどの視点で資質向上の目標を記入し、園長との職員面談で目標を確認します。その後、中間面談、通期面談で、年度の個人目標の達成度を評価し、次年度の業務につなげています。 • 毎月 1～3 回の内部研修を実施し、保育技術や第三者評価について研修を行っています。保育技術の研修には非常勤職員も参加しています。研修計画に基づき保育技術、発達、絵本、手作りおもちゃ、アレルギー対応、障がい児保育、虐待防止、感染症、ヒヤリハットなどの外部研修に、全職員が積極的に参加しています。研修に参加した場合は研修報告書を提出し、その内容は職員会議で報告し内容を共有しています。 • 業務にあたっては、常勤職員と非常勤職員をバランスよく組み合わせ配置するようにしています。非常勤職員も資質向上に努めており、「チャレンジ共有シート」を提出し、内部研修にも参加しています。非常勤職員の指導担当は園長・主任で「パート会議」を開催し、日常の保育に必要な事項を周知しています。また朝、夕も活動内容や子どもの様子を担当保育士が伝えているほか、週案会議で出た子どもの様子を回覧し周知しています。
<p>V-2 職員の技術の向上</p> <p>(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p> <p>(2) 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> • 職員の自己評価は苦手分野克服、得意分野向上、未経験分野へのチャレンジなどの視点で記入した「チャレンジ共有シート」で技術向上についての自己評価を行っています。 • 近隣の園のコーナーづくりやおもちゃの置き方などの環境設定や、わらべ歌などを工夫した事例の施設見学に行き、園での取り組みに生かすなど、サービス向上を目指した勉強会が開かれています。体操や造形教室では、専門講師から指導を受けています。また、他の園の園長から保育環境の指導を受けるなど、保育技術の指導を受ける仕組みがあります。

<p>(3) 保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 保育士の自己評価は、指導計画、日誌や週案の反省、自己評価欄を使って行っています。自己評価は理念や保育目標や保育方針と関連付けて行っています。年間指導計画は、5歳児の事例で、「意欲的な姿が多く見られたので当番活動を早めに取り入れた」、0歳児では、おもちゃを「徐々に自分で持とうとするが力が弱いので落としてしまう。支えてあげながら見守っていく」など、活動や結果だけでなく育ちや意欲、過程を重視しています。カリキュラム会議では保育士の自己評価の結果から、歯ブラシの使い方、おもちゃの片付け方、遊びの工夫など課題を明らかにして、改善に努めています。 • 保育所の自己評価は、第三者評価の項目に即し、理念・方針、保育課程、指導計画、保育内容、人権の尊重、職員の資質向上など12の視点から357項目について職員で話し合い、評価しています。保育所の自己評価の結果は玄関前に公表しています。
--	--

V-3 職員のモチベーション維持



<p>(1) 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 初任者（入社5年目まで）、クラス担任、リーダー、主任など経験・能力や習熟度に応じた役割や期待水準は、運営法人として明文化されています。 • 対外的な業務、事故や苦情などその場の状況を判断する必要がある偶発的な業務などは、園長・主任に報告・連絡・相談することが周知徹底され、通常の保育の実践はクラスリーダーや一般職員に権限委譲されています。 • 行事の担当は職員会議で決められるなど、職員の積極性や主体性を大事にし、やりがいを感じられるようにしています。 • 年に3回の職員面談を行い、業務改善の意見や業務でやりたいことなどの要望、業務内容への満足度を聴取し把握しています。
--	---

評価領域VI 経営管理

評価分類		評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）	
<h3>VI-1 経営における社会的責任</h3>		
<p>(1) 事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2) サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 運営法人から全職員に配布されている職員の心得や、就業規則の服務規律の欄には、守秘義務や個人情報保護など守るべき規範・倫理が明記され職員に周知しています。運営法人のホームページに事業報告や決算書が公開されています。また、園にも常備しており、閲覧ができます。 • 市や区から送られてくる、他施設における虐待、プールでの事故、アレルギー誤食など不適切な事例を使い、職員会議や毎日のミーティング 	

で情報共有し、それらのことが起こらないよう周知徹底しています。

- 地球温暖化防止に向けて、環境への考え方を明文化し、玄関前に掲示し保護者・職員に周知しています。市の「3R 夢 (Reduce…ごみそのものを減らす、Reuse…何回も繰り返し使う、Recycle…分別して再び資源として利用する) 出前教室」に子どもたちが参加し、プラスチックゴミ、燃えるゴミの分別について学びました。保育室では、子どもたちもゴミの分別を行って捨てています。ほかにも牛乳パックなどの廃材で、くつ下入れを製作するなど、3R や節電、節水を子どもたちに教えています。庭にプランターを置いて、花や夏野菜を育てています。

VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- (1) 保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。
- (2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。
- (3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。

- 入職の際に、理念・保育方針が掲載されている「サクセス保育者ナビ」を全職員に配布しています。また理念や保育方針を玄関・保育室・事務室に掲示しています。年1回、職員会議で園長が、理念・保育方針・保育目標などの研修を行って、その理解を促しています。職員が記入した「チャレンジ共有シート」に基づく年3回の園長面談で、理念の立場を理解して現場の保育活動を行っているかを園長が確認しています。
- 指導計画、行事などについては保護者と継続的に意見交換をしています。また保育士の異動などについては、園内の掲示板や、保護者へのお手紙で知らせています。
- 運営法人には次期主任の候補となる保育士を対象に、「アドバンス制度」があり、候補となるクラスリーダーに主任研修を受講させています。
- 主任はフリーで、日々クラスを巡回し、クラスや保育士の様子、保育の内容や保育士の対応を把握しています。主任は乳児クラスの会議、幼児クラスの会議、パート会議に出席し、助言や指導を行っています。
- 主任は声かけを行って職員の体調管理に気を配っています。また園長と協力して有給休暇の取得状況を把握し、職員全員が休暇取得できるよう管理しています。体調の悪い職員がいた場合、主任が園全体の業務の調整を行い、緊急の場合は主任が現場に入るなどの体制をつくっています。

VI-3 効率的な運営



- (1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。
- (2) 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

- 運営法人や区園長会、市や区から、子ども・子育て新制度、地域内の子どもの動向、子育て中の方々が授乳やおむつ替えをするために保育施設を利用できる「赤ちゃんの駅」など、事業経営に影響のある情報を収集し、分析しています。
- 園長・主任・リーダーなどで検討し、保育課程の振り返りと指導計画の見直し、コーナーの設定など子どもたちが活動しやすい保育環境の整備、地域の子育て家庭支援の取り組みの充実、職員の休憩スペースを確保するなど、その時々重点課題を設定しています。

- 課題の改善例としては、職員全体で話し合い、園が入っているマンションの空室を借り、園でのサービス提供にすぐに必要のない備品や消耗品を空室に移し、保育に使えるスペースを広くしました。子どもたちが活動しやすい保育環境を整えることができ、職員の休憩室も確保できました。
- 子どもの園での生活をより豊かにしていくために、英語あそびや介護施設の高齢者との交流を計画しています。保護者に園の子どもの様子を伝えるためブログを開設しています。地域支援の取り組みとして、臨床心理士による地域の人々へのカウンセリング、保育園体験、「赤ちゃんの広場」などに取り組むなど、運営やサービスプロセスの新たな仕組みをたえず検討しています。
- 次世代の園長育成のため、主任を園長研修に参加させ、園長業務を経験させるなど後継者を育成しています。運営に関し、弁護士・公認会計士・社会保険労務士など、運営法人を通じ外部の専門家の意見を取り入れています。

利用者（園児）家族アンケートの結果概要

●実施期間

2015年9月14日～9月30日

●実施方法

- ① 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
- ② 各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。

●回収率

96.2%（52枚配付、50枚回収）

※文中の「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値です。

【結果の特徴】

- アンケートの回収率が96.2%と非常に高く、園の保育に対する保護者の関心度の高さが読み取れます。
- 園の保育目標や保育方針については、「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は合わせて80%です。その中で全員がその保育目標や保育方針に「賛同できる」(75.0%)「まあ賛同できる」(25.0%)のいずれかと答えています。
- 問2～問7の37項目中35項目が80%以上の満足度になっています。
- 満足度が高い項目は、「保育園での1日の過ごし方についての説明」「お子さんの体調への気配り」が100%、次いで「入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応」「年間の保育や行事についての説明」「園のおもちゃや教材」「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっている」「あなたのお子さんが大切にされている」「話しやすい雰囲気、態度である」が98%で、職員の保護者への対応・説明や子どもへの対応に満足していることがうかがえます。
- 一方、満足度が比較的低い項目は「おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めている」「アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮」が78%、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明」が82%です。ただし「アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮」に対しては、「その他」16%、「無回答」4%で、「おむつはずし」については「その他」16%、「無回答」2%です。自由回答でも「自分の子どもにはアレルギー、障がいがないので園での対応を把握しておりません」との記述があることから、自分の子どもの成長と直接かかわりのない部分には回答ができなかったことがうかがえます。
- 自由記述欄には、職員へ「ありがたくおもっています」「安心して預けられます」等の感謝の言葉が多くありますが、「子どもの口からは保育園で何をしたか聞けないので教えてほしい」等の声も上がっています。

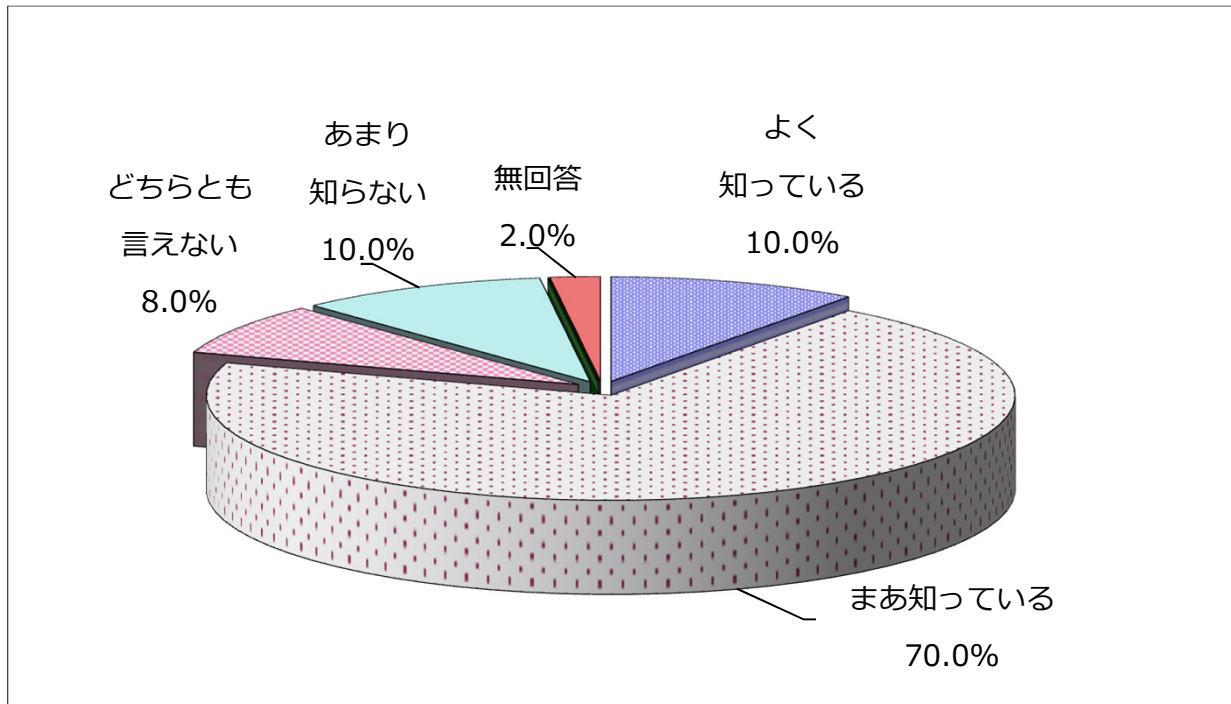
【参考】

- 大問ごとの平均満足度は、全ての項目が94%以上と高くなっています。
- 第三者評価の利用者家族アンケート実施の直前の9月に、0歳児が9名入所しており、アンケートの「無回答」になった可能性が考えられます。
- 相関分析のデータからは、「遊びを通じて友だちや保護者との関わりが十分もてているか」「保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には」「お子さんに関する重要な情報の連絡体制について」などの設問の結果が、保育園の総合的評価に大きく影響を及ぼしていることが読み取れます。

利用者（園児）家族アンケート 集計結果・分析

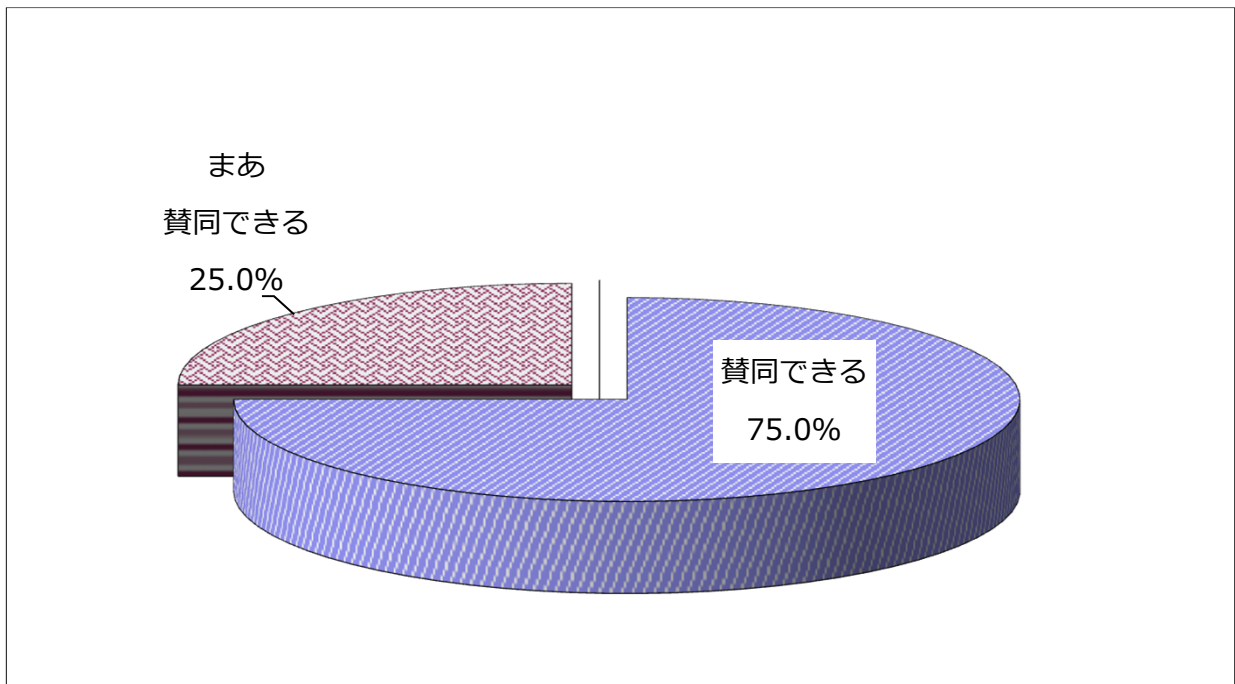
■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか



「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1 その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

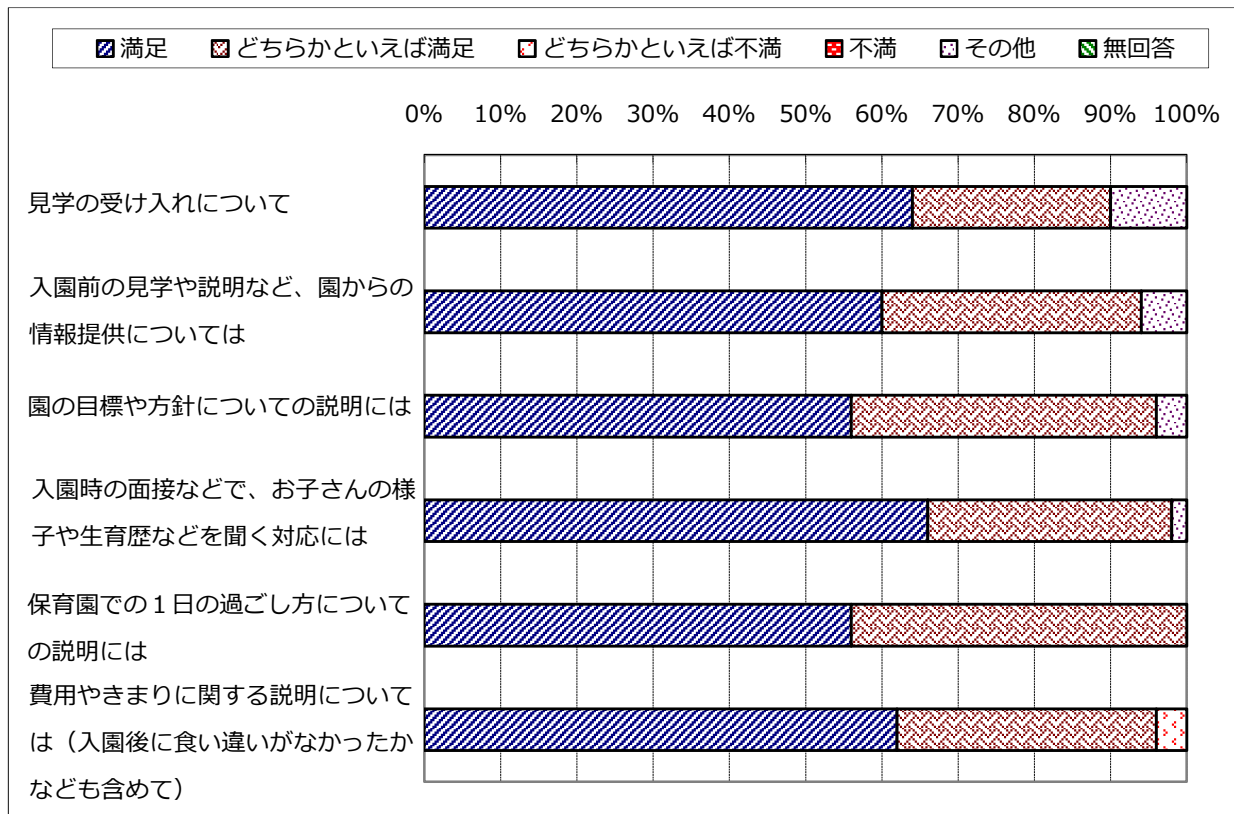


■ 保育園のサービス内容について

(%)

問2 入園時の状況について

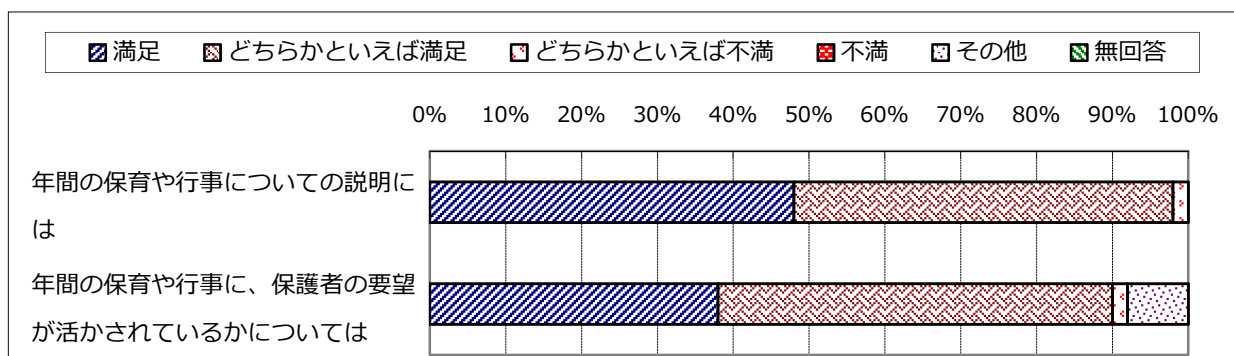
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについて	64.0	26.0	0.0	0.0	10.0	0.0
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	60.0	34.0	0.0	0.0	6.0	0.0
園の目標や方針についての説明には	56.0	40.0	0.0	0.0	4.0	0.0
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	66.0	32.0	0.0	0.0	2.0	0.0
保育園での1日の過ごし方についての説明には	56.0	44.0	0.0	0.0	0.0	0.0
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	62.0	34.0	4.0	0.0	0.0	0.0



(%)

問3 年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	48.0	50.0	2.0	0.0	0.0	0.0
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	38.0	52.0	2.0	0.0	8.0	0.0

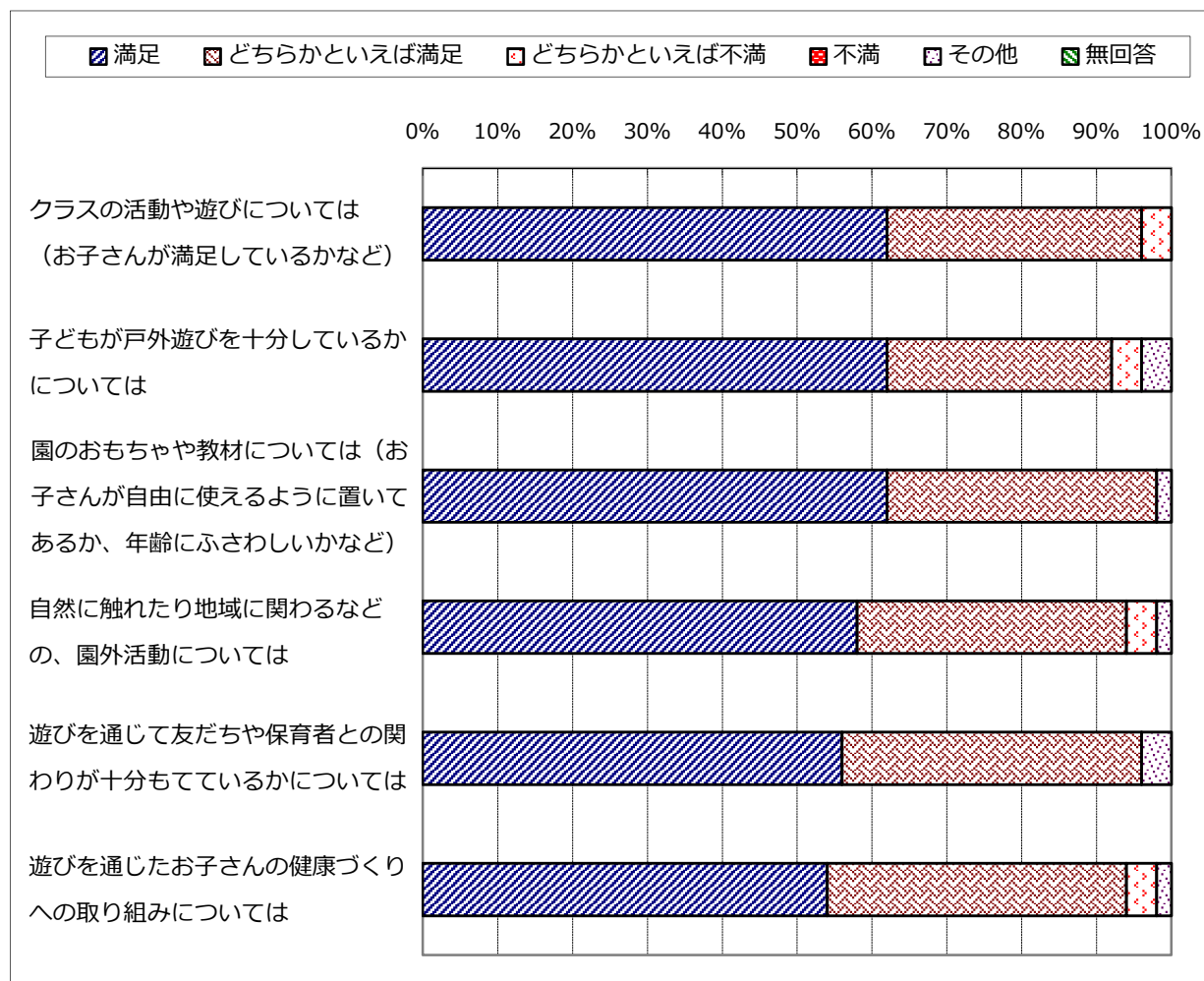


問4 日常の保育内容について

● 「遊び」について

(%)

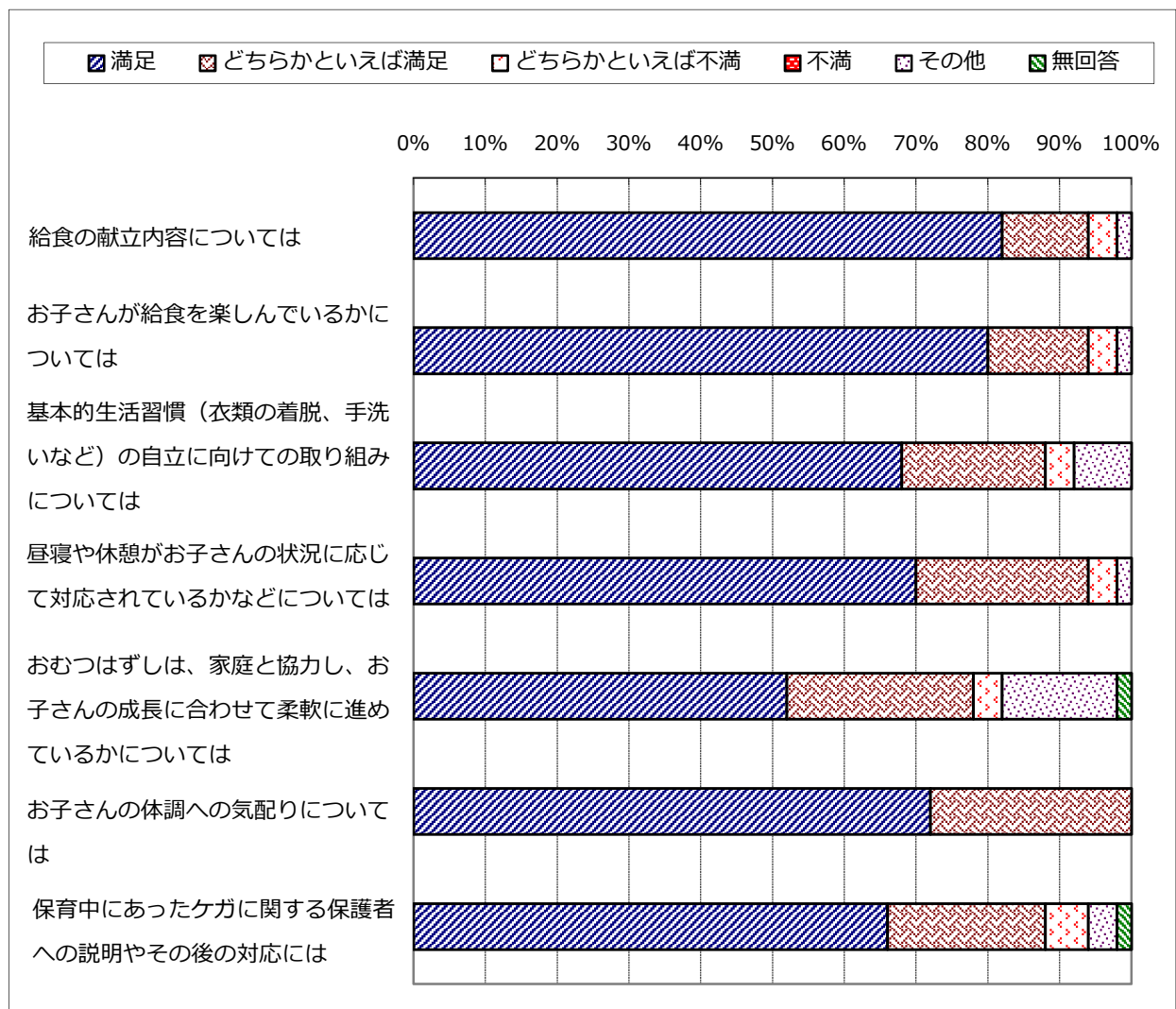
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	62.0	34.0	4.0	0.0	0.0	0.0
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	62.0	30.0	4.0	0.0	4.0	0.0
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	62.0	36.0	0.0	0.0	2.0	0.0
自然に触れたり地域に関わるなどの、 園外活動については	58.0	36.0	4.0	0.0	2.0	0.0
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	56.0	40.0	0.0	0.0	4.0	0.0
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	54.0	40.0	4.0	0.0	2.0	0.0



●「生活」について

(%)

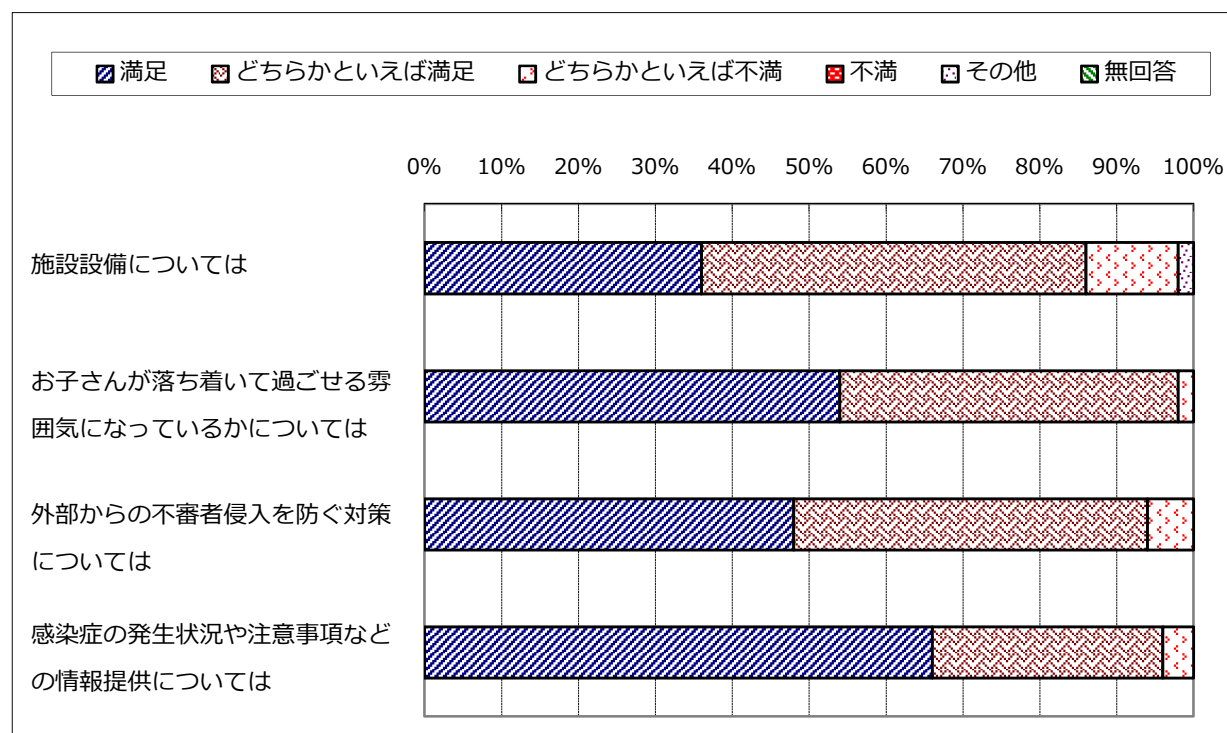
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	82.0	12.0	4.0	0.0	2.0	0.0
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	80.0	14.0	4.0	0.0	2.0	0.0
基本的な生活習慣（衣類の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	68.0	20.0	4.0	0.0	8.0	0.0
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	70.0	24.0	4.0	0.0	2.0	0.0
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	52.0	26.0	4.0	0.0	16.0	2.0
お子さんの体調への気配りについては	72.0	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	66.0	22.0	6.0	0.0	4.0	2.0



問5 快適さや安全対策などについて

(%)

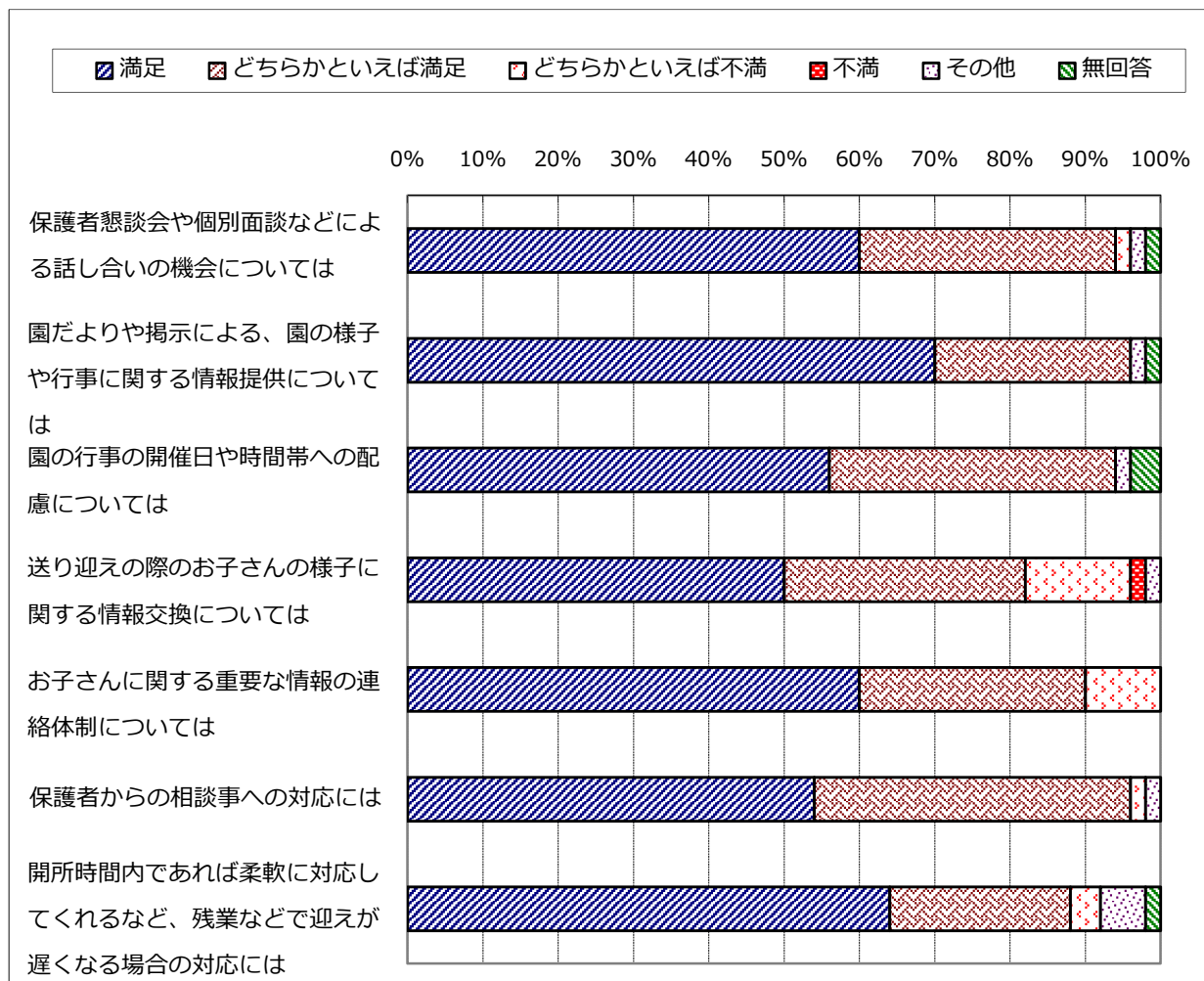
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	36.0	50.0	12.0	0.0	2.0	0.0
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	54.0	44.0	2.0	0.0	0.0	0.0
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	48.0	46.0	6.0	0.0	0.0	0.0
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	66.0	30.0	4.0	0.0	0.0	0.0



問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

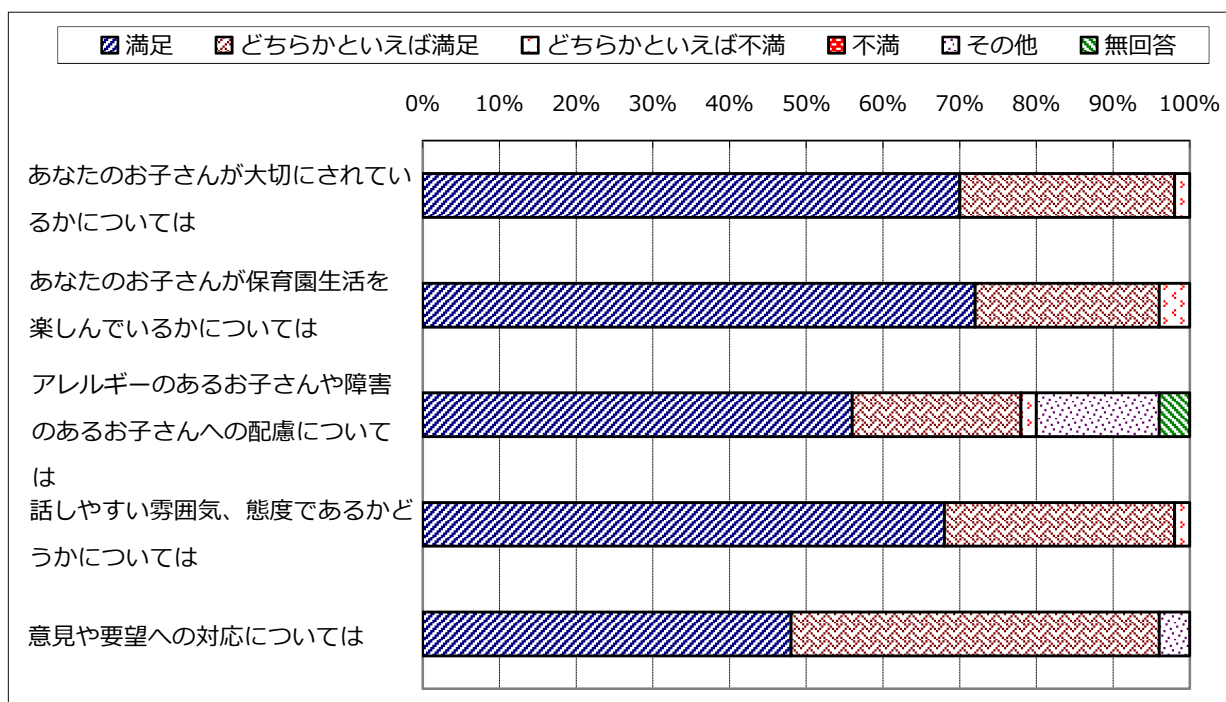
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	60.0	34.0	2.0	0.0	2.0	2.0
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	70.0	26.0	0.0	0.0	2.0	2.0
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	56.0	38.0	0.0	0.0	2.0	4.0
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	50.0	32.0	14.0	2.0	2.0	0.0
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	60.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0
保護者からの相談事への対応には	54.0	42.0	2.0	0.0	2.0	0.0
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	64.0	24.0	4.0	0.0	6.0	2.0



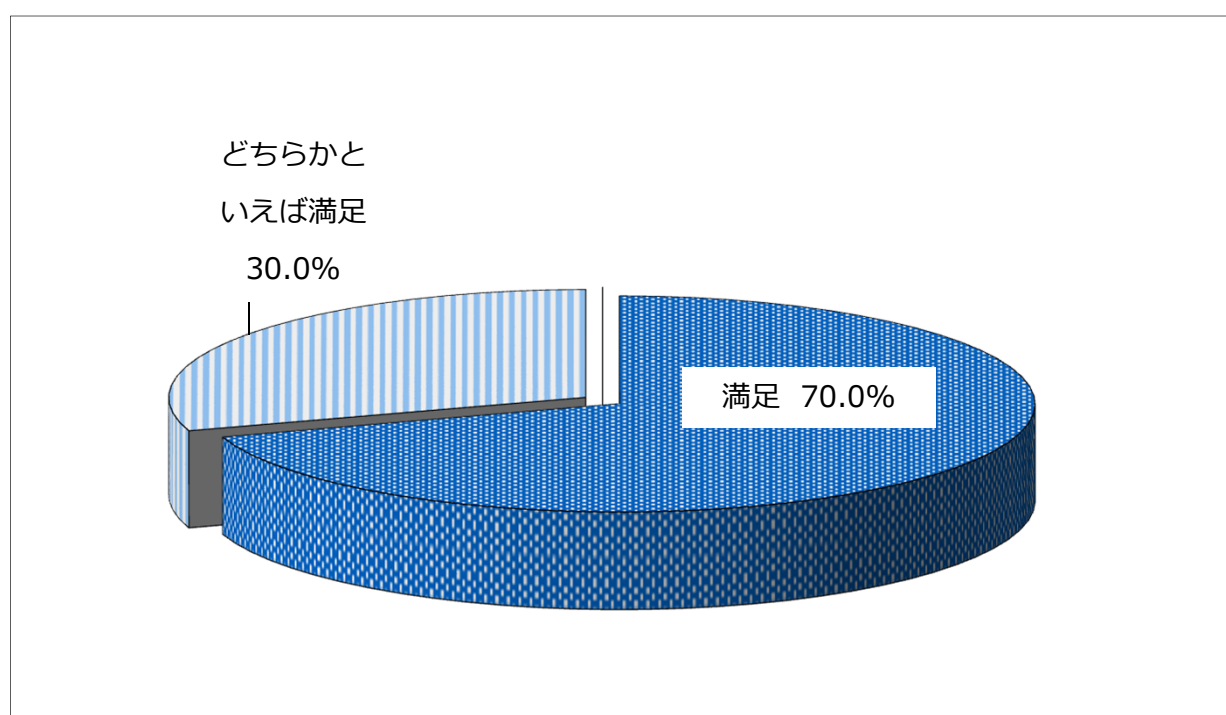
問7 職員の対応について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	70.0	28.0	2.0	0.0	0.0	0.0
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	72.0	24.0	4.0	0.0	0.0	0.0
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	56.0	22.0	2.0	0.0	16.0	4.0
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	68.0	30.0	2.0	0.0	0.0	0.0
意見や要望への対応については	48.0	48.0	0.0	0.0	4.0	0.0



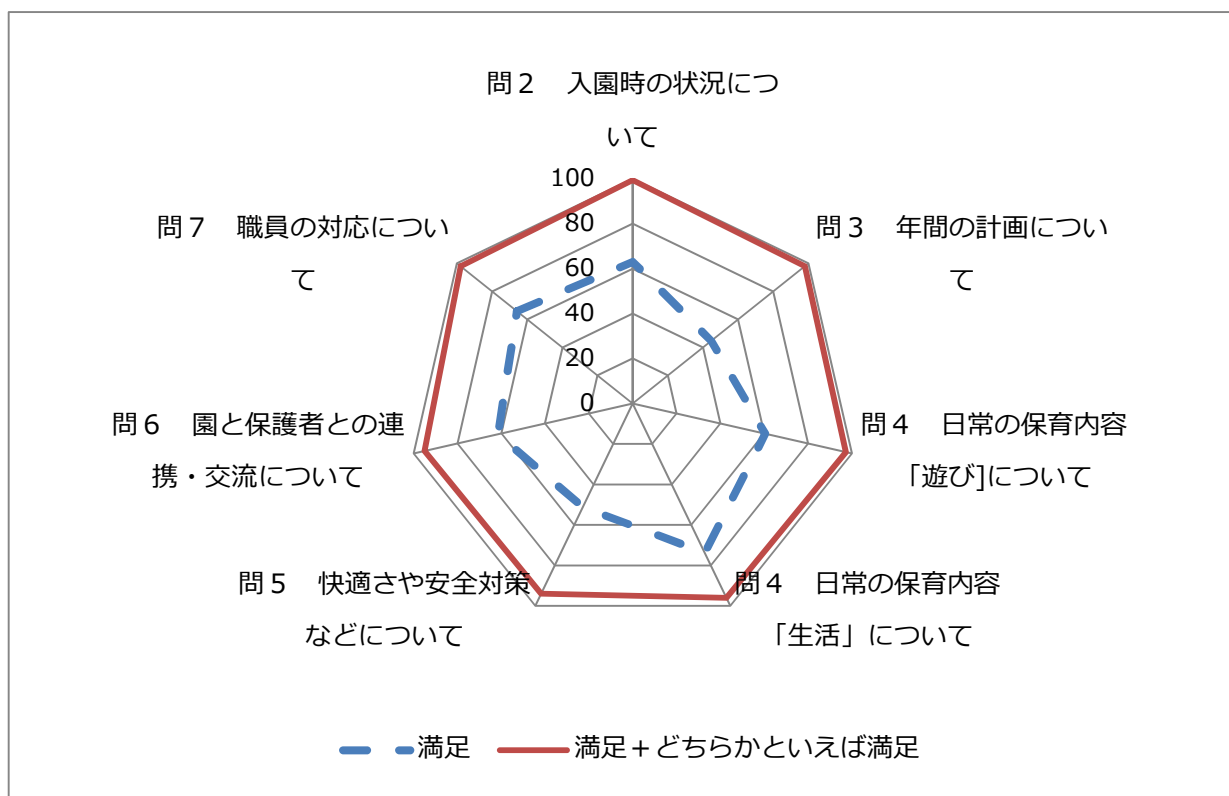
問8 保育園を総合的に評価すると



【参考資料1：中項目別平均満足度割合】

(%)

中項目	満足	満足+どちらかといえば満足
問2 入園時の状況について	63.1	99.3
問3 年間の計画について	44.7	97.9
問4 日常の保育内容「遊び」について	60.4	97.3
問4 日常の保育内容「生活」について	73.7	96.0
問5 快適さや安全対策などについて	51.2	94.0
問6 園と保護者との連携・交流について	61.5	95.0
問7 職員の対応について	66.0	97.9



※各中項目は、2～7つの小項目によって構成されており、各小項目の満足度割合から平均値を算出した。

※ここでの「満足度割合」は「その他」「無回答」を除外して計算してある。

【参考資料2：総合的な評価と相関が深い項目（相関分析）】

設問項目	相関係数
問4：遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	.666
問4：保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	.664
問6：お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	.635
問5：お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	.632
問7：アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	.600

※データ分析上は、上記の項目で「満足」と答えた人は、問8「総合的な評価」においても「満足」と回答した率が高い。（逆に「不満」と答えた人は、問8においても「不満」と回答した率が高い）

※上記の項目の満足度を高めることが、総合的な満足度の向上にもつながる可能性が高い。

利用者（園児）本人調査の結果概要

実施日：11月9日（月）、11月10日（火）

実施方法：観察調査を調査員が各クラスで実施し、戸外・園外での活動も観察した。

幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

●0歳児クラス

朝、カートを使って散歩に出かけました。途中から歩ける子どもを一人ずつカートから下ろし手をつないで歩きます。電車も大好きで、柵につかまり電車を見たり、地べたに座り込み落葉をいじったり興味を持ったものを楽しんでいます。遊歩道でお年寄りから「かわいいね」と声をかけられ保育士も答えます。

散歩から戻り、室内で自由に遊んでいます。手づくりのおもちゃもたくさんあり、言葉の出ない子どもたちのおもちゃ取り合いの場面では、取られたくない子どもがおもちゃを抱えて後ずさりします。保育士がおもちゃを取りに行く子どもに「〇〇ちゃんのだよね」と声かけし、「お着替えしようか？」などと別のことに誘います。0歳児のオムツ替えは、おしっこは室内で、ウンチはトイレを使用しています。保育士は「〇〇ちゃんオムツ替えるから来てもらってもいい？」と子どもに声かけしていました。

食事が始まりました。保育士が、今何を食べているのかを伝えながら援助します。スプーンに興味のある子どもには、危険性の少ない子ども用のスプーンを持たせます。手づかみで食べる子どももいます。ゆっくり子どものペースで食べさせています。授乳は保育士同士で授乳量を確認しながら、一人一人抱っこして授乳していました。

●1歳児クラス

子どもたちはマットのスペースでそれぞれ遊んでいます。自由遊びではレールをつないで電車を走らせたり、手作りののよるよるの布のおもちゃをつなげたり、頭にのせたり自由な発想で楽しんでいます。使っているおもちゃをとられそうになると「やだ」と口で言える子どももいます。

今日はスタンプ遊びをしました。机にテーブルクロスをかけ、赤・黄・茶の絵具を溶いたバットと、切ったねぎ・レンコン、色画用紙を並べます。保育士が野菜の絵本を読んで気持ちを集中させます。自分で選んだ色画用紙にべったんべったんと保育士の手を借りながら自由に押しています。絵具が手について、保育士に「ぬるぬるする」と言ったり、絵具がついた指を保育士に見せる等、絵具の感触も味わっていました。

座った子どもから食事を始めます。スプーンやフォークを使い、時には手づかみで食べています。保育士は子どもが興味を示したのものには「これは大根」、「これはお肉」と名前を伝えます。むせる子どもの背中をトントンしたり、言葉が少なく身ぶり手ぶりで表現する子どもには、代弁しながら「いっぱい食べたね」、「すごいね」と褒めます。アレルギーのある子どもの除去食は、栄養士が運んできました。他の子どもと間違えないように食器の色を変えています。保育士に説明をして、チェック表に記入しています。

●2歳児クラス

朝の自由遊びの時間、一人の子どもは木製の小さなベッドに布製の人形を寝かせています。別の子どもは、布製の袋を片手に持って出かける様子です。保育士が「どこへ行くの」と聞くと「お買い物」と答えました。人形に「すぐもどってくるから」と話をしています。

衝立で仕切ったコーナーでは、レゴで電車を作ったり、自動車で遊んでいます。乗物図鑑のページを何度も繰り返しめぐりながら自動車の絵に魅入っています。自由遊びの時間を、思い思いに過ごしていました。

一人の子どもが遊んでいるトラックを別の子どもに取り上げられ、泣き出しました。保育士が取り上げた子どものそばに寄り、静かな声で「これは〇〇くんだよね、□□くんは別ので遊ぼう」と声をかけると納得したようで、トラックを返していました。

保育士が「やりたい人」と声をかけ、2～3人ずつ集めて、紙のミノムシ作りに誘っています。丸い形と三角の形の台紙をのりでくっつけ、それにちぎった折り紙を貼って作ります。保育士は色紙と入れ物を子どもに用意して「好きな紙をビリビリして、この中に入れてね」と言うと、子どもは手で紙をちぎり始めました。「じょうずじょうず」と保育士から褒められるとうれしそうです。次は三角の台紙と丸い台紙を糊で貼りミノムシの形にします。クレヨンで顔を描きました。それに干切った色紙を思い思いに貼っていくと、個性あふれるミノムシが出来上がりました。

●3 歳児～5 歳児クラス

朝は 3～5 歳児が自由遊びをしています。机の周りには数人の子どもが集まり、一人あやとりをして、「ちょうちょ」「手首ぬき」など自分の得意な技を互いに披露しています。別の机では、粘土を平たく伸ばし型抜きをしています。マットの上で四角や三角の部品をつなげ、さまざまな立体形をつくるおもちゃで作品を見せ合っている子どももいました。

3～5 歳児対象の造形の時間。外部の専門講師が保育士と一緒に子どもたちに版画を教えます。講師が年齢ごとに、版画製作の手順を子どもたちに説明します。その後、子どもたちは透明フィルムに丸や四角のさまざまな大きさのシールを思い思いに貼ります。シールを貼ったフィルムにローラーで青いインクを塗り、A4 サイズの白い紙を載せ、こすったあと丁寧にめくると、フィルムに貼ったシールの通りの絵が写し出されました。保育士が「じょうず」と言うと子どもはニッコリし満足そうな表情をしました。

3～5 歳児と一緒に 12 月の「お楽しみ会」の歌の練習をします。保育士のピアノに合わせ、子どもたちは精一杯歌います。保育士は「とってもじょうずでした。みんな歌詞を覚えてくれてありがとう。もう少し優しい声で歌えたらもっといいと思います」と褒めながらも、課題を指導しています。その後、3 歳児、4 歳児は脇に座り、保育士が「たいようさんが歌を歌います。お楽しみ会で発表する歌です」と言うと、5 歳児は表現力豊かに振付をしながら上手に歌いました。3 歳児、4 歳児は憧れの表情で拍手をしていました。

3～5 歳児の部屋の机や棚を移動させると広いスペースができます。ここで、3～5 歳児がリズム遊びを行いました。年齢別に 3 グループに分かれ、ピアノに合わせてさまざまな動きをします。3 歳児は保育士が手本を示し、床に寝転んでゴロゴロしたりブリッジをつくったりします。特定の動きと特定のメロディーが対応しています。終了のメロディーが流れると子どもたちは自分の座る位置に戻ります。4 歳児は保育士と一緒により高度なリズム遊びを行います。5 歳児には保育士がつかず、自分たちだけでリズム遊びを行えます。輪になって走りながら、手を使い表現をしながら表情豊かに踊ります。春にはぎこちなさがありました。夏にはスムーズに動けるようになりました。2 歳児も様子をのぞきにきて真似をしています。最後は運動会で行ったダンスが始まりました。5 歳児はストリートダンサーのように元気に体を動かしていました。

●まとめ

子どもたちは晴れた日には近隣の公園の散歩に行きます。散歩する公園は自分たちの意見から選びます。自然に触れ季節の移り変わりを感じ、情緒豊かな心を育てています。散歩で地域の人々とも触れ合い、自然にあいさつを交わしています。年間を通し歌やリズムあそびをしたり、体操教室や造形教室では専門の講師を招き、体力や表現力を培っています。3 歳児から 5 歳児は異年齢で一緒に元気に過ごしています。自由遊びでは異年齢で一緒に遊び、子どもたちの間に自然と思いやりが生まれ、いたわりの心が育まれています。異年齢だけでなく、クラス別保育を時々行って、発達に沿った保育が行われています。子どもたちは、理念の「のびやかに育て 大地の芽」に沿った園生活を楽しんでいます。

事業者コメント

開園して10年目、園としては2回目の第三者評価受審となりました。私は在職4年目ですが、連携を図りながら子ども達が楽しいと思える園生活ができるように自己研鑽を積み日々保育に携わっています。職員関係も良好で、後輩は先輩に何でも相談できており、経験が浅い職員も安心して業務を行っていますので、この3年間保育士はほとんど退職者がなく保護者からも安心して預けて頂いています。保護者アンケートでも、70%の満足、どちらかと言えば満足30%、合わせて100%満足という高評価を頂きました。心から感謝すると共により安定した園運営に努力していかなければと身を引き締められているところです。

今回、第三者評価を受けて、職員全員で振り返り、園の良さを再発見したり、改善点に気づけたこと、他の保育士の保育観や、保護者との関わり方、園全体の業務等知らない事も理解できたと職員からの感想がありました。長い時間をかけて話し合う中で、保育園全体の課題や保育内容など見直す機会が持て、職員一人一人が一步成長できた姿が見られたことは受審をして大変良かったと思っています。

常により良くしようと意欲ある職員に囲まれている今、「和」の心を大切に「子どもの最善の利益」となるよう、また保護者が「楽しい保育園」「預けて良かった」と感じて頂けるようこれからも職員一丸となり努力して参りたいと思っております。

受審にあたりご尽力頂きました評価機関の皆様、お忙しい中、利用者調査にご協力頂きました保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

(株) サクセスアカデミー
にじいろ保育園サクセス金沢文庫
園長 川内 恵子



-評価で次のステージへ-
since 2012

合同会社 評価市民・ネクスト

〒231-0003 横浜市中区北仲通 3-33 関内フューチャーセンター153

Tel: 050-3786-7048 Fax: 045-330-6048

URL: <http://www.hyouka-next.jp>